



# れきけん ニュースレター

vol.04

写真：軟石アーチ詳細 撮影：角幸博1970



## ●特集：歴史的地域資産とまちづくり

～平成26年度文化芸術振興補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)の採択～

実行委員会会長：角幸博

- れきけんを訪ねて：北海道林木育種場旧庁舎
- れきけん調査隊：寿都町からみる北海道の歴史
- 活動報告：平成26年度活動中間報告
- 匠の技紹介：吉田工業所 吉田健司さん
- おすすめ・れきけんBook

# ●特集：歴史的地域資産とまちづくり

～平成26年度文化芸術振興補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)の採択～

実行委員会会長：角幸博

文化庁の文化遺産を活かした活性化事業「北海道文化遺産活用活性化計画」が、平成26年採択されました。

この事業は、れきけんと北海道文化財保護協会、北海道建築士会の3者が、北海道文化遺産活用活性化実行委員会（会長：角幸博）を発足させ、組織を越えて協働して事業を進める北海道初の試みでもあり、また北海道教育委員会や文化庁から大いに期待されている事業でもあります。

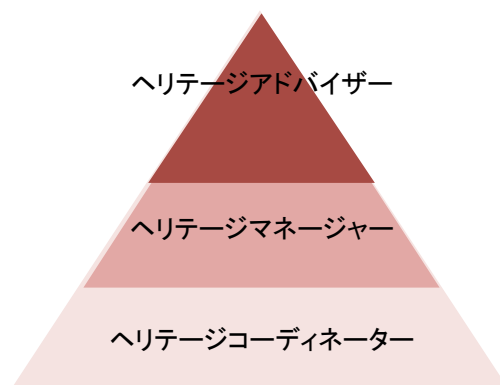
取組みは、（1）歴史的地域資産の現況および将来資産の調査、（2）歴史的地域資産の保存活用の検討と推進のための普及啓発事業、（3）地域性を考慮したヘリテージ・マネージャー育成のための制度設計および認定試験の実



施の3本柱とし、それぞれ多くの成果をあげてきておりますが、このほど12月7日（日）、ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座が終了しました。ヘリテージ・マネージャー28名、同コーディネーター7名が1期生として修了しました。ヘリテージ・マネージャーは、歴史的建造物の保全活用に係る専門家で、建築士会を中心に、すでに兵庫県、愛知県、三重県、徳島県、大分県、熊本県ほか13県(2014年4月現在)で育成講座が開始されていますが、北海道では、さらに一歩前進して、ヘリテージ・マネジメント専門職なるものを、ヘリテージ・アドバイザー、ヘリテージ・マネージャー、ヘリテージ・コーディネーターの3者で構成し、そのネットワークとして、北海道ヘリテージ・マネジメント・アソシエーション(仮称)創設を目指すという、他の府県にはない取り組みをしています。

ヘリテージ・アドバイザーは、ヘリテージ・マネージャーやヘリテージ・コーディネーターの養成を行なう講師陣や専門家で、各種案件のアドバイザーとして、ヘリテージ・マネージャーやヘリテージ・コーディネーターの相談を受け指導する役割を果たし、マネージャーは、文化遺産および歴史的建造物、歴史的地域資産等の修理技術や活用手法、歴史文化遺産を活かしたまちづくり等に関する専門知識や登録有形文化財の評価書作成までのスキルを有する者で、保存活用に向けた提案をアドバイザーと連携してマネジメントする建築士や学芸員ほか建設業に従事する人材、コーディネーターは、保存活用に向けた提案をアドバイザーやマネージャー、各種専門家と連携可能な市民も含めた人材です。マネージャーの育成時間は60時間、アドバイザーは30時間と、いずれも土、日曜日のハードな講習でしたが、充実した講師陣のもと、網走、函館、芽室、帯広、ニセコなど遠隔地からも参加し、熱心に研鑽されました。彼ら1期生を中心に、歴史的地域資産の価値や保存活用のためのスキルを有する建築士や市民が北海道の各地域で増加し、各地の資産を活性化し、次世代につなぐための大きな力となることを願っています。

本事業は、1年毎の申請となっており、来年の事業のために、現在申請計画を進めていますが、れきけん会員の方も、本講座にぜひともチャレンジしていただきたいと思います。（会長：角幸博）





## ●れきけんを訪ねて：北海道林木育種場旧庁舎

野幌森林公園に隣接する北海道林木育種場旧庁舎は、昭和2年（1927年）に竣工し築87年の登録有形文化財です。大正、昭和初期に流行した、いわゆるハーフテンバーを基調とした外観で、江別市の昭和初期の希少な洋風庁舎建築です。

国道12号から見ると酪農学園大学キャンパスの奥の丘陵地頂部に建ち、地域のランドマークとして親しまれてきました。

現在、雑木に遮られてランドマーク効果は薄れていますが、江別市は週末の散策者の休憩などに旧庁舎の一部を解放しながら本格的な保存活用を目指して、保存・活用事業者募集を行っているところです。

昨年度、江別市からの保存活用の委託調査で、れきけんメンバー、北翔大学研究グループ、保存活用の各分野の専門家と何度か訪れる機会がありました。その端正で均整のとれた上質な外観や、階段手すり、操り型など技量の高い左官工事に改めて高い評価の声があがりました。

歴史性を生かした地域づくりの視点からも、この旧庁舎を多数の市民が活用できるプロセス作りをする必要性を再認識しました。（監事：齊藤徹）



## ●れきけん調査隊：寿都で瓦と煉瓦の生産が…

過って、寿都町にもたらしたニシン漁の隆盛は、種前地区・歌棄有戸地区を始めに町内に質の高い漁家建築、寺社建築、蔵等を通じその記憶を読み取ることが出来ます。

これらの歴史的記憶は、北海道有形文化財指定である「カクジュウ佐藤家」を始めに、隣接する「橋本家（鯉御殿）」や漁場空間（前浜の袋溜や山側のニシン干場）も含め、国の指定史跡に向け取り組みが始まりました。

我々れきけんは、その史跡調査の加わる中で明治27年に始まる寿都産の「瓦と煉瓦の生産」記録を、橋本家所蔵の古文書より探し出すことが出来ました。北海道日本海沿岸に建つ漁家建築の屋根瓦の調達は、専ら、建築主の母村である近江や能登からの調達が一般的とされていましたが、この記録より、ニシン漁で栄えた寿都の「瓦と煉瓦」の地産地消を实践する証に併せ、北海道の建築生産史・技術史の観点から極めて興味深く、今後の発見がさらに期待されるところです。右写真は、橋本家の家紋『中蔦紋』入りの軒瓦と、当主と製造者が交わした請負契約書内に綴られていた紋入り瓦の製造依頼を示すものです。（理事：渡辺一幸）



## ●活動報告：平成26年度活動中間報告

- ・博物館網走監獄からは、移築した建物の改修履歴などに関する調査として「博物館網走監獄登録有形文化財移築・改修工事調査」の依頼を受けています。
- ・寿都町からは、橋本家（鯉御殿）ほか地域に残る歴史的資産を史跡として保存活用する可能性を調査する「歴史的地域資産を活用した“まちづくり”のための資源調査」を受託しています。
- ・公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団からは今年で3年めとなる「歴史は生きる力「れきし・いのち」プラットフォームプロジェクト」がまとめの年となっており、「歴史的地域資産活用ガイドブック」が完成する予定です。（理事：神長敬）

## ●匠の技紹介：吉田工業所 吉田健司さん

煉瓦積み職人として35年。お父さんも、お父さんの叔父も煉瓦積み職人であった環境から、自然に子供の頃から煉瓦積み職人になろうと思っていた吉田さん。お父さんは気性が荒い反面、やさしいところもある人で、三角関数は計算尺を使って現場のコンパネなどにメモしながら解いていた。そんな父を誇りに思っていたそう。

サッポロビールの煙突を積んだ煉瓦職人に憧れながら、それを越えるものをつくりたいと日々努力を重ねている吉田さん。建築は新建材で新しくつくるのも方法の一つだが、煉瓦は古くなればその味わいが生まれるし、同じ風景が何十年も続くことが、煉瓦がつくる風景の良さではないかと思っている。六面体できている煉瓦を奇麗に見えるように積むことは、丈夫なもの、強いものをつくる結果となる、との信念で仕事に励んでいるそう。

いまの煉瓦建築は煉瓦をタイルを貼っているように扱っている。昔の煉瓦建築は飾り積みなどで、壁、柱、梁などを特徴あるものに仕上げていた。もっと煉瓦らしい煉瓦建築を煉瓦職人としてつくっていきたい。さらに歴史的・地域資産の保存修復は本物の技術がないと物（もの）を形（かたち）として残していけないのではないかと、吉田さんは日々考える。（理事：神長敬）

※詳しくは札幌人図鑑【<http://sapporojinzukan.sapolog.com/d2014-10-06.html>】をご覧ください。文章は札幌人図鑑を参照し、書き起こしています。



## ●おすすめ・れきけんBook（理事：橋本敏明）



■異人館復興  
～神戸市伝統的建造物修復記録～  
●神戸市教育委員会編著  
●発行所：住まいの図書館出版局



■たてもの文様帖  
～日本のアール・デコ建築東京都庭園美術館の巻～  
●下中菜穂編著、東京都庭園美術館共著  
●発行所：(株)エクスプランテ



■北の建物散歩  
●越野武＋北大建築史研究室編  
●発行所：北海道新聞社



■建築タイプの歴史Ⅰ  
～国家と偉人の記念碑から刑務所まで～  
●ニコラウス・ペウスナー著、越野武訳  
●発行所：中央公論美術出版



■失われた教会堂  
～札幌北一条教会堂を保存する会の記録～  
●発行所：札幌北一条教会堂を保存する会

### ■編集後記

#### ●みなさま、いつもありがとうございます

みなさま、いつも当NPOにご協力いただきありがとうございます。おかげさまで準備期間に約1年を費やし、活動を開始してから3年目を迎えました。この間、地方都市の歴史的建造物の保存活用、史跡指定に向けた調査、文化財登録を目指した建物評価など、多数の調査や相談業務を継続することが出来ました。これも会員のみなさまのご協力とご理解のおかげと、改めて感謝申し上げます。

#### ●ニュースレターを刷新いたしました

今回、ニュースレターを刷新いたしました。これは当NPOの活動内容をみなさまに少しでも多くお届けし、これまでと変わらず活動へのご理解とご協力をお願いしたいとの思いからです。

#### ●事務局ニューフェイス

事務局にあたらしいスタッフが増えました。昨年まで大手コンサルタントに勤務していた鈴木由美子さんです。会員のみなさまへのご連絡など、事務的な作業全般をお手伝いいたしますので今後ともよろしく申し上げます。（理事：神長敬）